

写真で見る 学校の様子

長万部高等学校

静狩小学校



外部講師を招き、職業説明会を実施しました 11/20



地域の方に教わって！～漬物作り～ 11/5



火災を想定した避難訓練を実施しました 11/26



お年寄りとの楽しいひと時！～慈恵園訪問～ 11/11



「南極料理人」原作者の西村淳氏を講師に招き、
中高・町P連合同講演会を実施しました 11/27



いたわりと思いやりを！～人権教室～ 10/1



私には夢があります

北海道長万部高等学校長

中 坪 俊 博

新年、おめでとうございます。今年も長万部高校へのご支援・ご協力を、よろしくお願い申し上げます。今回は本校の宣伝と、後半は初夢にちなんで私の夢をご紹介します。

本校は長万部町から多くのご支援を頂いています。中でも、保護者又はそれに代わる人が長万部町民の子弟で、本校から国公立大学または東京理科大学へ進学した生徒は、町の奨学金制度を利用できることを、皆さんはご存じでしたでしょうか。長万部町、北海道、日本の未来を創造する有用な人材を育成するために設けられた制度で、年間授業料について、返還義務のない給付奨学金と、返還義務のある貸与奨学金（無利息）の両方を受けることができます。

学部と理学部第1部への指定校推薦入学枠があります。また、文系進学コースは国公立・私大文系・看護系に対応しています。長万部町立病院も奨学金制度を設けています。もちろん、就職を目指す生徒には、資格コースが設置されています。リケジョという言葉は差別的との批判もありますが、そんな言葉が出てくるほど、いつの間にか科学の子が減ってしまっているのも事実です。

子どもは自然や不思議な現象が大好きです。水道の水が流れるのを、いつまでもじっと見ていたり、科学者よろしく卵をいつまでもかき混ぜたり、お風呂のお湯が抜けて渦がきたりすると大喜びします。子どもは本来、科学の子、理系なのだと思います。東京理科大も、小・中高と連携し、理科への興味・関心を高める出前授業や講義をしてくれます。本校の理系進学コースは、国公立大理系に十分対応できるカリキュラムになっていますし、東京理科大基礎工

ここからは、私の夢です。長万部町の科学の子は、東京理科大をはじめ、小・中学校の努力で年々増えていきます。もちろん高校もお手伝いします。そして、その多くの生徒が本校に入学します。卒業後の進路は、町をはじめとする各種奨学金制度を活用して、国公立大学か東京理科大学です。新幹線が通る時代、その多くが技術者や研究者としてITを駆使しながら長万部町を拠点に働いています。その中から、ノーベル賞受賞者が生まれます。…大風呂敷をを広げましたが、新年に免じて笑ってお許しください。でも、実現可能な夢だと思いますが、いかがでしょうか。「なぜだろう」「不思議だな」と思う子どもの頃の純粋な気持ちを忘れず、未来を夢見る想像力を高めて、今年も良い年にいたしましたよう。